

# 有磯海SAも「恋人の聖地」に

## あす記念の鐘除幕

サービスエリア（SA）から富山湾を眺めながら、愛を語らうのはいかがが——。北陸自動車道下り線の有磯海（ありそうみ）サービスエリア（魚津市）が、NPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市）が主宰する「恋人の聖地」に選ばれ、このほど記念のモニュメントの鐘が完成した。19日にはSAで除幕式が開かれる。

「聖地」は、各地を代表する観光施設や景勝地を100カ所選定し、地域活性化や少子化対策などに生かしてもらおうのが目的。2006

年から選定が始まり、委員はファッションデザイナーの桂由美さんや女優の菊川怜さんらが務める。10月1日現在で、六本木ヒルズ展望台東京シティビューや、横浜ランドマークタワーなど全国で84カ所が選ばれている。県内では小矢部市のクロスランドおやべに続き2カ所目となる。

有磯海SAは、管理・運営する中日本エクシスが申請し、4月に聖地に選ばれた。晴れた日には富山湾の輝く水面や能登半島が、夜には魚津・滑川市街の夜景が楽しめる眺望が決め手になった。

SAには同NPOから贈られた



「恋人の聖地」と書かれたプレートが取り付けられ＝写真＝、高岡銅器の鐘も設置された。また、19日からは、地域の人たちが一般道からもSAに入れる「ぷらっとパーク」としても利用できるようにする。

除幕式は19日午前10時から。地元の食材を使った鍋が振る舞われるほか、地元特産品の販売やミニコンサートなどのイベントも行われる。